

Lexis+™ | 新機能のご紹介

優れた検索機能、データ主導型の分析機能、実用的な解説機能を備えた、統合的なリーガルソリューションを実現するオールインワンサービスです。

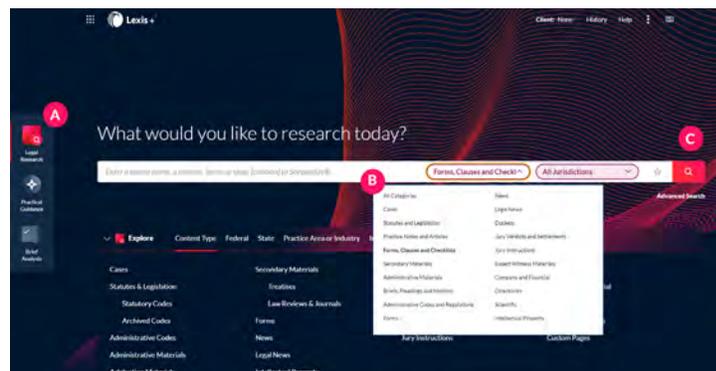
Lexis+™は、シンプルで理解しやすい画期的なインターフェイスを新たに搭載し、さまざまな主要ツールを連携させることで、必要な結果を今までにない速さで表示します。

はじめに

Lexis+™のランディングページには視覚的に最適化されたデザインが施され、すべての法務ワークフローをここから開始します。使用を開始するには、まず **A Experience Dock** から、目的に応じて Legal Research、Practical Guidance、Brief Analysis などのメニューを選択します。

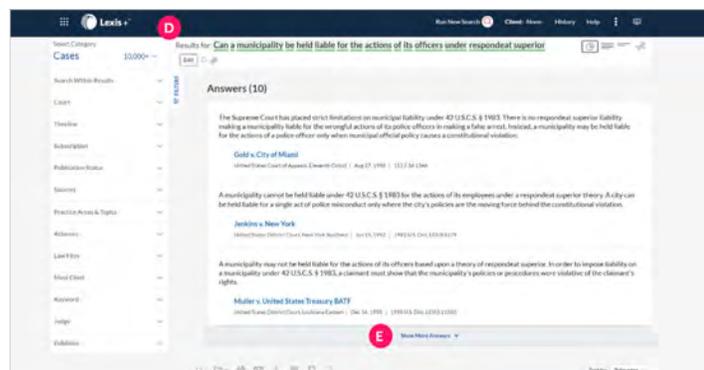
Legal Research

B Legal Research メニューでは、法律情報・財務情報・ニュース・実務解説書等のコンテンツの横断検索が実現し、効率的かつ効果的な検索が可能になりました。ソース・文書・法律用語・推奨される質問を調べる場合にも、**C 検索バー**に自然言語やキーワードとコネクタを直接入力して、簡単に検索します。



Lexis Answers®

D Lexis Answers® では、法律上の疑問点や典拠を示します。膨大な文書を調査する必要はありません。

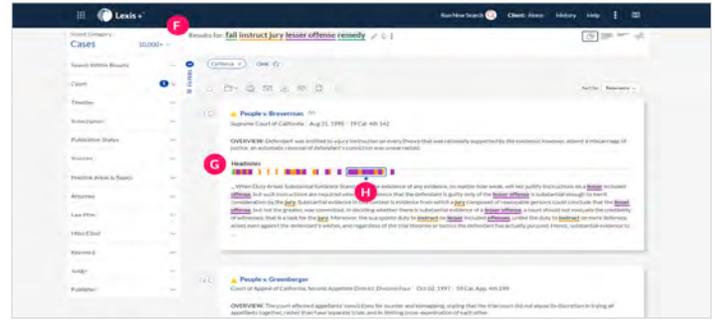


この画面を展開して最大 10 件の回答を表示させるには、

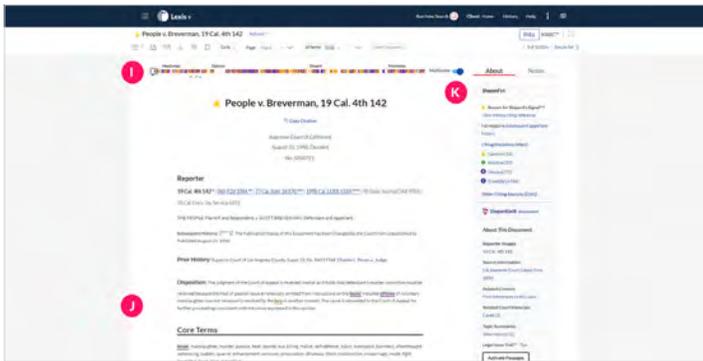
E Show More Answers を使用します。それぞれの回答には、質問に関連する判決文の一部と、その判決を下した裁判所、判決日、判決の引用情報が含まれます。回答をクリックすると、判決文における回答テキストの正確な位置が表示されます。

Search Term Maps

F Search Term Maps には、判例、ニュース、法令、行政規則、二次資料、行政機関発行文書、弁論趣意書、申立書、答弁書を対象として、結果一覧および各文書全文に含まれている検索語句の位置と分布が示され、その語句の分布パターンや最も集中的に使用されている箇所を特定します。



G グラフィック表示機能により、文書内でその語句が登場する部分への移動のほか、ハイライトされた語句を選択し要約を表示することが可能です。検索語句が最も集中的に使用されている部分は **H** 星印で示されます。

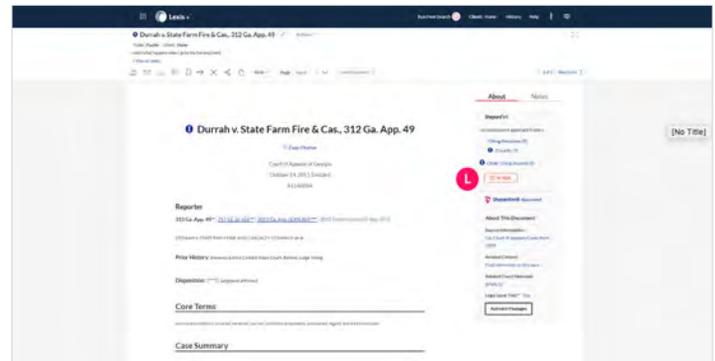
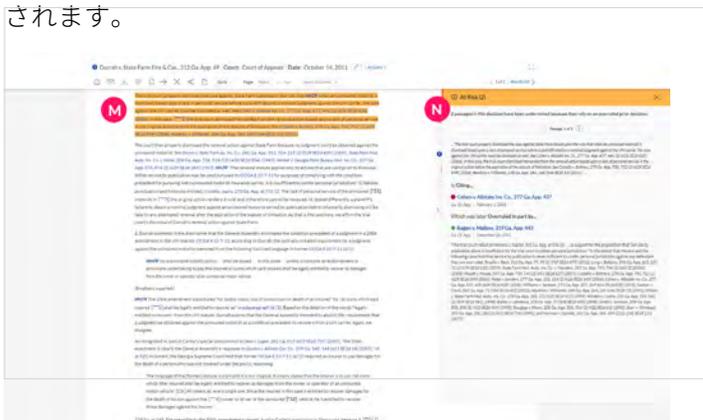


文書を見ながら、**I** Search Term Map および **J** ハイライトされた語句を確認します。文をクリックして特定の語句を表示させたり、**K** Multicolor 表示をオフにできます。関連性がある有用な文章を簡単に特定できるため、調査の効率性が高まります。

Shepard's® At Risk

Shepard's® At Risk は、同じ司法管轄区の判例で該当する法的な論点が否定的に扱われたことがあり、却下されるリスクのある判例を特定します。たとえば、図に示している Durrah 判決の場合、中立を表す青の「I」マークが表示されており、この判決が直接却下されたり他の判例を引用して否定的に論じられたりしていないことが示されています。ただし、オレンジ色の

L At Risk の警告も表示されています。これは、依拠している法的な論点が Durrah 判決と同じである判例が、別の判例で否定的に扱われているためです。ボタンをクリックすると、この判例の意見における「At Risk」ポイント、つまりリスクのある法的な論点が詳しく表示されます。



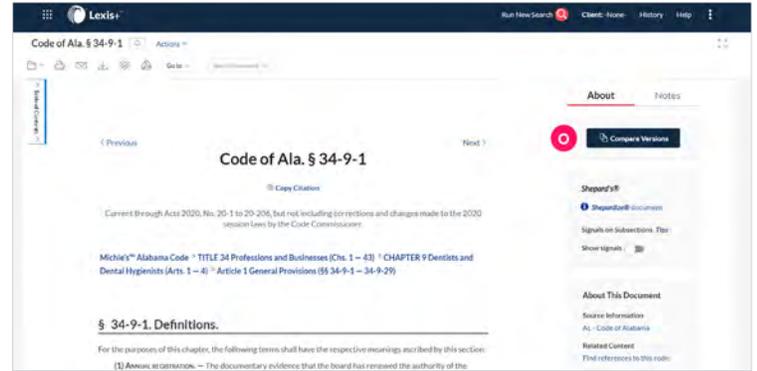
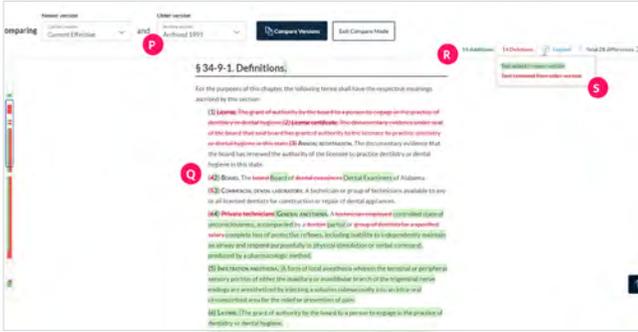
M 該当箇所がオレンジ色でハイライトされています。**N** サイドパネルには、リスクの根拠が示されています。

これを読むと、Durrah 判決が、訴状送達の十分性と対人管轄権に関する法的な論点において、Cohen 判決という別の判例に依拠していることがわかります。Cohen 判決は、同じ法的な論点について Ragan 判決で覆されています。Ragan 判決の判決文の関連する部分が表示されているので、Durrah 判決における問題点のリスクの度合いを簡単に判断できます。Durrah 判決におけるリスクのある論点は、判決文の中で 2 回言及されています。Durrah 判決に含まれるその両方の箇所を確認して、Ragan 判決に与えた影響を確認します。Durrah 判決と Ragan 判決の間には直接的な引用関係はありませんが、相手方の弁護士や裁判所がこの問題に関して Durrah 判決が適法とは言えないと主張する可能性があります。

Code Compare

法律や立法趣旨の変更を確認する際は、Code Compareを使用すると、当該項の2つのバージョンを横に並べて表示できます。Compare Versions をクリックすると新旧の法律を比較できます。

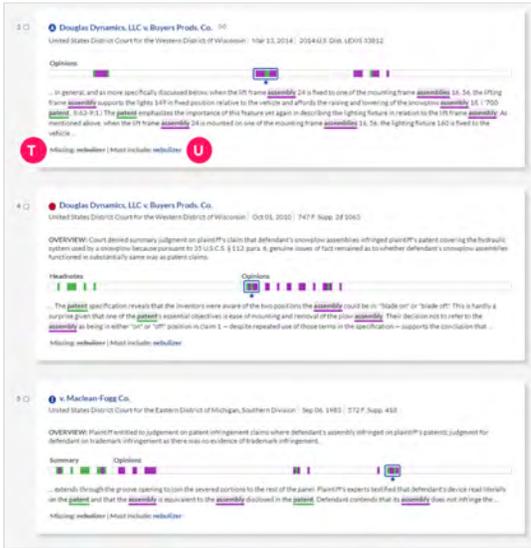
他のバージョンは、Newer version and Older version で選択いただけます。



緑でマークされた箇所は追加されたテキストを示し、赤の取り消し線は削除されたテキストを示します。上部の R カウンターは、この比較に含まれる追加箇所と削除箇所の数を示します。S Legend に、追加と削除の説明が表示されます。

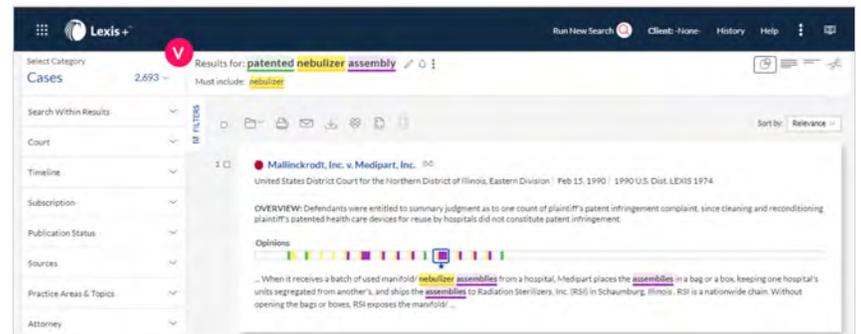
Missing and Must Include

Missing and Must Include を使用すると、検索をさらに細かく制御することができます。この機能では、検索クエリに含まれる語句の中で特定の文書や結果に含まれていない語句がハイライトされ、文書を開かなくてもすべての検索語がその文書に含まれているかどうかを視覚的に確認できます。Missing and Must Include はすべての種類のコンテンツで利用でき、最大5つの語句を「Missing and Must Include」のラベル付きで表示できます。

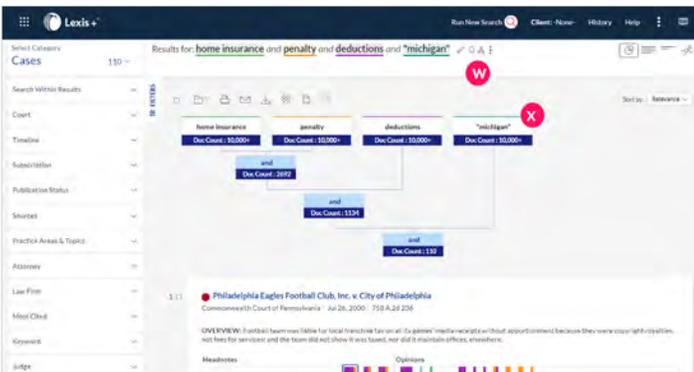


検索結果の下部に表示される T Missing ラベルは、その語句が当該文書に含まれていないことを示します。U Must Include をクリックして検索を再実行すると、検索結果にその語句が含まれるようになります。

ページ上部を見ると、V Must Include に指定された語句が新しいクエリに含まれています。これで、必要な語句を含む検索結果が得られます。



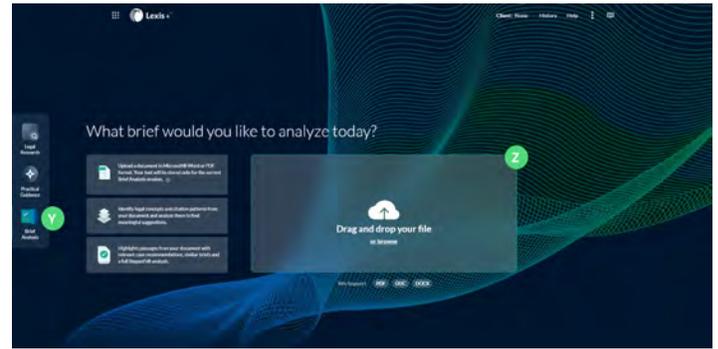
Search Tree



検索をさらに詳細にカスタマイズして実行するには、検索実行後に W Search Tree アイコンをクリックして、新機能である X 視覚化ツールを選択します。これは、特定の用語が結果に含まれていない理由を詳しく調べるために役立ちます。必須の検索語句が書かれたボックスを選択すると、検索結果が更新され、その語句が含まれるようになります。

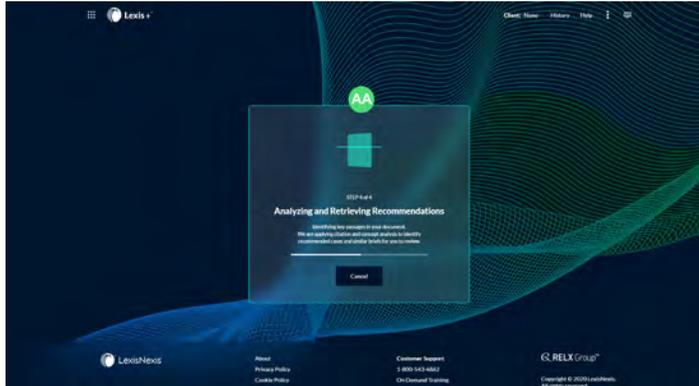
Brief Analysis

文章に含まれる法的観点に関連する判例及び似たようなBriefを自動的に見つけてくることで、作成したBriefをより強固な主張へと時間を節約しながら作り上げることができます。またShepard'sを使った分析から引用している法令が適切かどうかを判断することが出来ます。

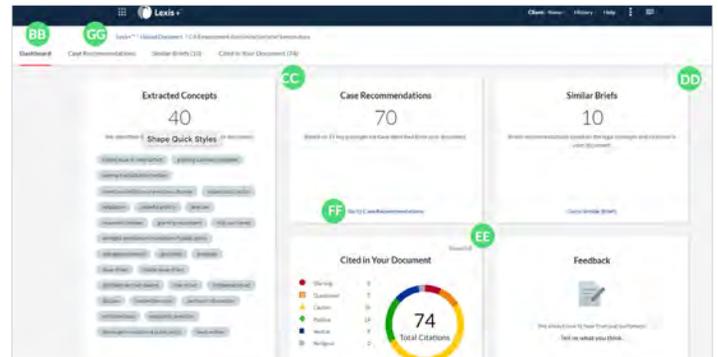


Experience Dock から **Y** Brief Analysis メニューを選択します。次に、**Z** Drag and drop your file or browse にファイルをドラッグアンドドロップするか、またはここからディレクトリを閲覧して、アップロードするファイルを選択します。

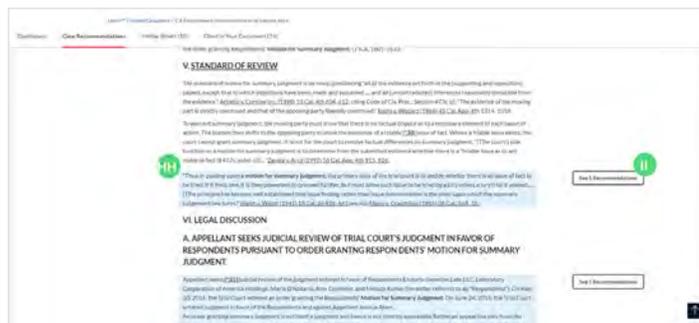
ファイルをアップロードすると、Brief Analysis によって文書内のテキストの重要な概念や引用が **AA** 分析され、ウイルススキャンが実行されます。文書のデータは暗号化されます。また、LexisNexis® が文書のテキストを保存するのは、Brief Analysis セッションの間だけです。



文書の分析が完了したら **BB** Dashboard にアクセスして、結果と推奨の概要と、文書からどのような重要な法的概念が抽出され、それが他の関連文書の中でどのように位置付けられているかを確認します。関連文書は **CC** Case Recommendations および **DD** Similar Briefs で表示でき、Shepard's® 分析の結果は **EE** Cited in Your Document で表示します。



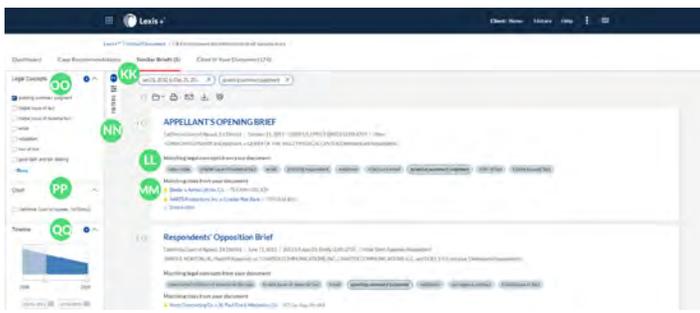
閲覧が推奨される関連判例を確認するには、**FF** Go to Case Recommendations をクリックするか、画面上部の見出しタブで **GG** Case Recommendations を選択します。



文書のテキストが表示され、文書で特定された法的論点や論拠に基づいて、**HH** 重要箇所と **II** 推奨判例がハイライトされます。

当該司法管轄区に関連判例は関連するテキストとともに **JJ** サイドパネルに表示されます。その結果に目を通して、推奨判例を文書内で使用するかどうかを判断したり、文書の法的論点が当該司法管轄区における他の判例の判決と矛盾がないことを検証したりします。赤い印の付いた判例が表示される場合があります。これは各種の典拠を比較し、正反対の典拠の可能性を認識するためのものです。これは相手方の文書の分析時に特に役立ちます。

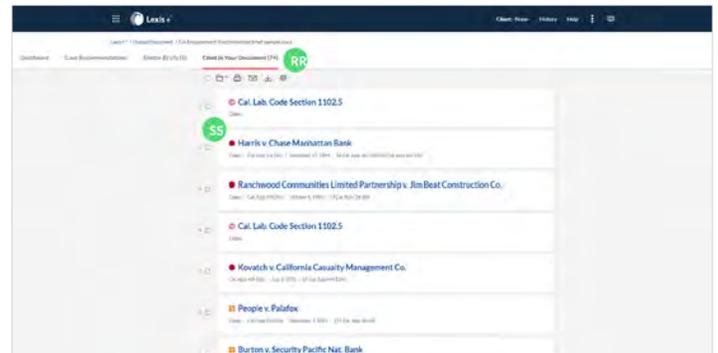




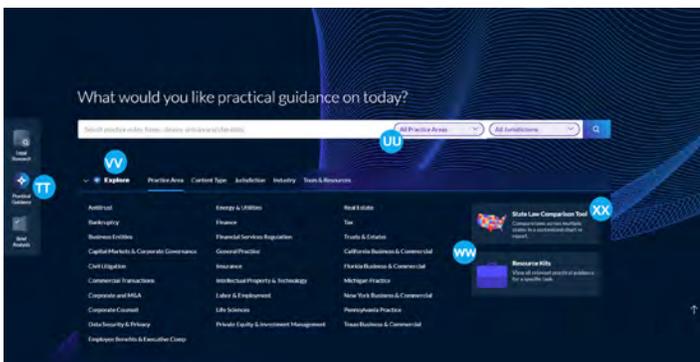
KK Similar Briefs には、類似する法的概念および事実概念や、引用の傾向に基づいて、関連する弁論趣意書やその他の裁判所文書が表示されます。**LL** Matching Legal Concepts と **MM** Matching Cites には、文書内の合致する法的概念と合致する引用情報が、それぞれの推奨文書とともに表示されます。**NN** Filters で **OO** Legal Concepts に基づいてフィルタリングを行うことで、検索で重要となる特定の法的概念に注目できます。概念を選択してクリックし、その概念を含む弁論趣意書のみ結果を絞り込みます。選択した概念は推奨弁論趣意書の上に表示され、その概念を含む

弁論趣意書内でハイライトされます。なお、複数の概念を選択できます。その場合、選択した概念のいずれかを含む文書が表示されます。また、**PP** Court や **QQ** Timeline でもフィルタリングできます。

文書で引用した典拠の Shepard's® 情報を確認するには、**RR** Cited in Your Document をクリックします。文書からの引用は、**SS** ネガティブ Shepard's® 分析の結果が最も高いものから順に一覧表示されます。判例や法規をネガティブ分析ですばやく評価し、引用した判例が文書で述べた法的論点に関して今も適法かどうかを判断します。

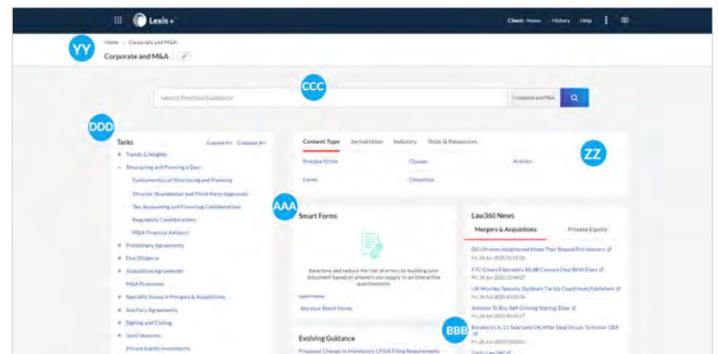


Practical Guidance



どのような法的案件でもすばやく取り掛かり完了させるには、**TT** Practical Guidance を活用します。Experience Dock のメニュー、または Legal Research の検索バーからアクセス可能です。Practical Guidance メニューでは、まず、**UU** 検索バーまたは **VV** Explore セクションから始めます。後者は、Practice Area、Content Type、Jurisdiction、Industry、Tools & Resources に分類されています。**WW** Resource Kits からは、整理・集約されたコンテンツにアクセスできます。また、**XX** State Law Comparison Tool では、カスタマイズされたチャートやレポートで、司法管轄区ごとの法律を比較できます。

YY Practice Area を選択すると、当該の法分野に関する **ZZ** 解説、**AAA** ツール、**BBB** リソースのすべてにアクセスできます。法分野内の検索は **CCC** 検索バーから行います。**DDD** Tasks では、業務別に分類された典拠となるコンテンツを見つけることができます。



Lexis+™へようこそ。

あらゆる法務ワークフローを、検索から戦略立案まで、最初から最後までお手伝いします。

[LexisNexis.com/LexisPlus](https://www.lexisnexis.com/japan/) | 詳しくはレクシスネクシス・ジャパン株式会社担当者にお問い合わせください。